

平成 24 年 1 月 13 日

広帯域電力線搬送通信設備の屋外利用に係る
許容値及び測定法(屋外 P L C 許容値等)の試案

上 芳夫

1. 許容値は、コモンモード電流で規定する。
2. 具体的な許容値の決定要因として、
 1. 屋内 P L C の場合に考慮した建物の遮蔽効果分
 2. 屋外の単純配線であるので、グラウンドの効果分をどの程度考慮するか、をシミュレーション結果および実験結果を勘案して、決定する。

(別紙)

高速電力線搬送通信設備作業班事務局

提案されている許容値と測定法のまとめ

提案団体(者)	許容値対象パラメータ	許容値	測定法	備考
PLC J	漏えい電界	29.5dBuV/m@30m 48.6dBuV/m@10m	高さ4mの高さに敷設した20mの電力線に沿って、水平距離10mの地点で測定。コンセントをLCL=16dBのISNで模擬	FCC part15.31、アマチュア無線帯域には30dB以上のノッチ挿入
長部 (VLAC)	コモンモード電流	測定やシミュレーションの結果が出た段階で決める	屋内PLCの場合と同等：コンセントをLCL=16dBのISNで模擬	屋内PLCにおける手法と整合性あり。
国立天文台	電力密度	-125dBm/Hz@2MHz -130dBm/Hz@30MHz	(参考資料6-4参照)	周囲雑音レベルをITU-R P.372のRural: 10 dBuV/m@2MHz, 0dBuV/m@30MHzとし、これから0.5dB以下の許容値

欧州におけるCENELEC
TC210 (電力密度での規制
値) は、否決 (2011年9
月)